

平成24年行政事業レビューシート（環境省）

事業名	核燃料サイクル分野の規制支援研究事業（運営費交付金）	担当部局庁	原子力規制委員会発足まで：経済産業省 原子力安全・保安院核燃料管理規制課、 核燃料サイクル規制課 原子力規制委員会発足以降：原子力規制委員会	作成責任者	
事業開始・終了（予定）年度	平成17年度・平成28年度	担当課室		課長 山形 浩史 課長 信濃 正範	
会計区分	エネルギー対策特別会計 電源開発促進勘定	施策名	5 生命・身体の安全 (ただし、原子力規制委員会設置前の施策名)		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特会法第85条第5項第1号ハ	関係する計画、通知等	・総合科学技術会議の分野別推進戦略 V エネルギー分野10③-5 原子力研究 ・エネルギー基本計画(平成19年3月閣議決定) 第2章第3節2. 原子力の安全の確保と安心の醸成		
事業の目的	<p>核燃料サイクル施設の安全審査において、使用前検査や溶接検査等の規制を的確に行うために必要な判断基準や評価手法を整備するとともに、設計段階で規制機関が実施する安全審査において、事業者が実施した設計の妥当性を評価するための手法の整備が必要である。</p> <p>特に、福島第一原発の破損燃料の輸送に備えるため、その安全審査等に必要な安全解析コード・データ及び適用手法の改良整備は必要不可欠であることから、これら審査基準を整備することにより、適正な安全規制が実施できるようにする。</p>				
事業の概要 (5行程度以内。別添可)	<p>使用済燃料貯蔵施設の安全審査等に必要な基準や適否判断に必要なデータ等を調査や試験により収集・整理・評価する。また、貯蔵及び輸送される燃料の健全性に係る試験を行う。破損燃料の輸送に係る技術調査を実施し、技術基準の妥当性確認及び安全評価シナリオの検討を行う。さらに核燃料サイクル施設や核燃料輸送物の各種審査のための安全解析・評価(クロスチェック解析)に必要な安全解析コード等を最新の知見や技術に対応できるよう改良整備及び検証解析を行う。</p> <p>※原子力規制委員会の発足後、経済産業省から原子力規制委員会に業務が移管される予定。</p>				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他				

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算額・執行額 (単位:百万円)	当初予算	#VALUE!	#VALUE!	308	137	175
	補正予算	-	-	-	-	-
	繰越し等	-	-	▲ 144	-	-
	計	-	-	164	137	-
	執行額	-	-	164	-	-
執行率 (%)				100.0%		

成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	成果実績は、専門家による外部評価において、平均以上の達成状況と判断された分野数。達成度は、全プロジェクト数に占める、成果実績数の割合。	プロジェクト数	—	—	2	3
	達成度	%	—	—	50	

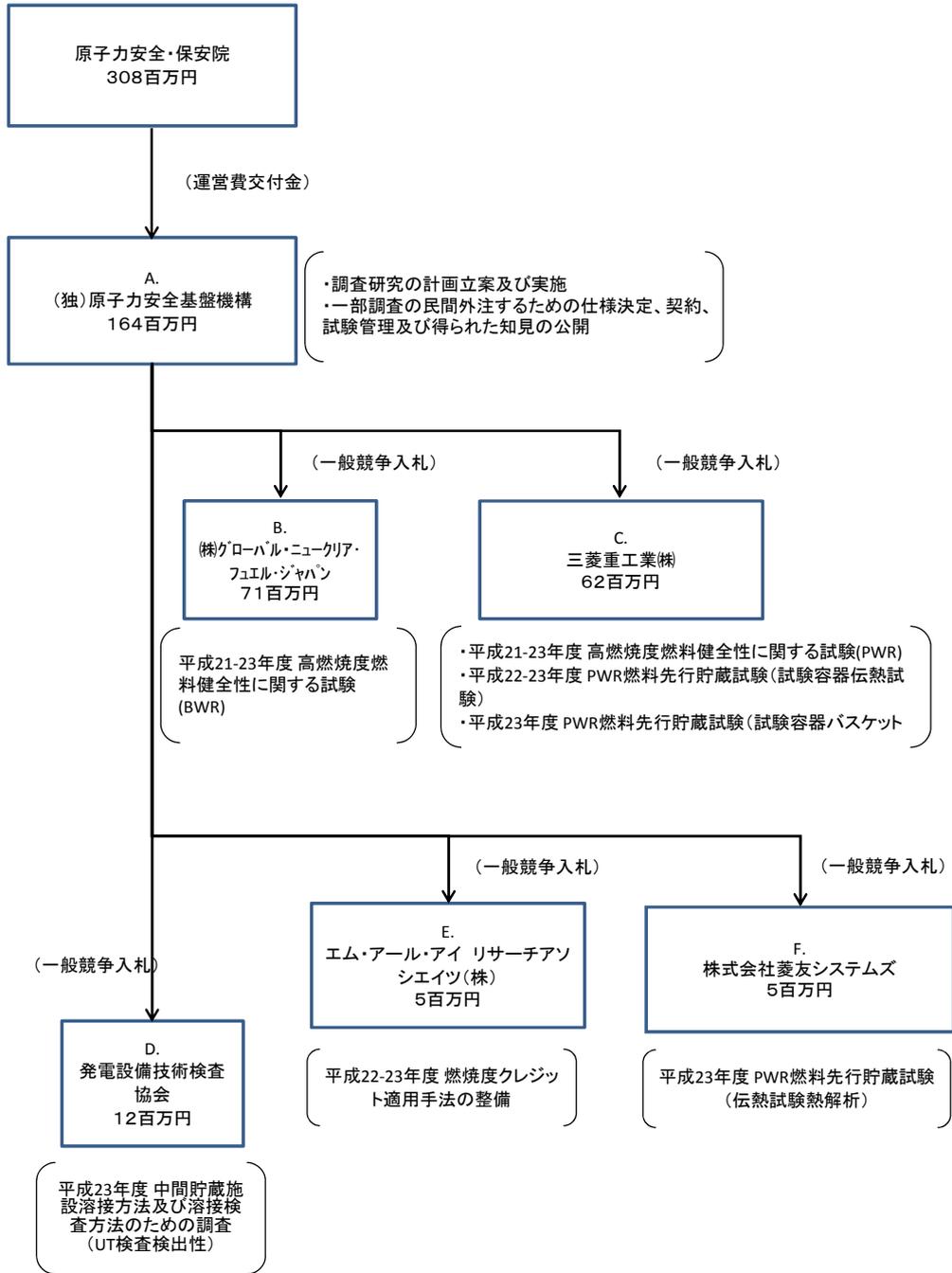
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	上記目標を達成するために必要とした検討会など外部への報告数。	報告数	—	—	3	—
	(当初見込み)	—	(-)	(2)	(2)	

単位当たりコスト	45,666,666 (円/プロジェクト)	算出根拠	平成24年度当初予算(137,000千円)をプロジェクト数で平均した額。
-----------------	-----------------------	------	--------------------------------------

平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	人件費	0	0	
	事業費	123	166	
	委員謝金	1	1	
	旅費等	13	8	
	計	137百万円	175百万円	

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国による安全規制のための事業であり、国民のニーズが高い事業。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出は一般競争入札又は公募を予定。単位あたりのコストは（独）原子力安全基盤機構の標準単価を利用。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	使用済燃料貯蔵施設の安全審査等に必要な基準や適否判断に必要なデータ等を調査や試験により収集・整理・評価等を行うとともに、最新の知見を安全解析・評価へ反映していくことで、今後の安全性の向上策の一つとして活用される。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・執行面において既に明らかになった課題はないか、また、その課題に迅速かつ適切に対応しているか <ul style="list-style-type: none"> → これまでのところ、執行面において特段の課題は明らかになっていない。 ・事業の成果目標が立てられているか <ul style="list-style-type: none"> → 適正な安全規制のための審査基準の整備・運用という目標を明確にしている。 	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		引き続き効率的な事業実施に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		効率的な事業実施に努める。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー-		平成23年行政事業レビュー	123

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (独) 原子力安全基盤機構			E. エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ (株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸経費	旅費、委員謝金、会議費、印刷費、図書資料費	9	請負費	平成22-23年度 燃焼度クレジット適用手法の整備	5
請負費	(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン	71			
請負費	三菱重工業(株)	62			
請負費	発電設備技術検査協会	12			
請負費	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ (株)	5			
請負費	株式会社菱友システムズ	5			
計		164	計		5
B. (株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン			F. 株式会社菱友システムズ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	平成21-23年度 高燃焼度燃料健全性に関する試験 (BWR)	71	請負費	平成23年度PWR燃料先行貯蔵試験 (伝熱試験熱解析)	5
計		71	計		5
C. 三菱重工業(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	平成21-23年度 高燃焼度燃料健全性に関する試験 (PWR)	53			
請負費	平成23年度PWR燃料先行貯蔵試験 (試験容器バスケットデータ取)	6			
請負費	平成22-23年度PWR燃料先行貯蔵試験 (試験容器伝熱試験)	3			
計		62	計		0
D. 発電設備技術検査協会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	H23年度中間貯蔵施設溶接方法及び溶接検査方法のための調査 (UI検)	12			
計		12	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)原子力安全基盤機構	・調査研究の計画立案及び実施 ・一部調査の民間外注するための仕様決定、契約、試験管理及び得られた知見の公開	164		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン	平成21-23年度 高燃焼度燃料健全性に関する試験(BWR)	71	1	98%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業(株)	平成21-23年度 高燃焼度燃料健全性に関する試験(PWR)	53	*1	*1
2	三菱重工業(株)	平成22-23年度PWR燃料先行貯蔵試験(試験容器伝熱試験)	3	*1	*1
3	三菱重工業(株)	平成23年度PWR燃料先行貯蔵試験(試験容器バスケットデータ取得)	6	不落(随意契約)	不落(随意契約)

*1 H21年度又はH22年度からの複数年度契約のため、入札者数、落札率とも無

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	発電設備技術検査教会	平成23年度中間貯蔵施設溶接方法及び溶接検査方法のための調査(UT検査検出性)	12	1	97%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)	平成22-23年度 燃焼度クレジット適用手法の整備	5	4	40%

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社菱友システムズ	平成23年度PWR燃料先行貯蔵試験(伝熱試験熱解析)	5	3	58%